

軍は若者たちに、兵士たることを求めた。

だが、人間らしさを
貫こうとした若者がいた。

ジョエル・シューマカー監督作品

タイガーランド

TIGERLAND

リージェンシー・エンタープライゼス提供 ハフト・エンタテインメント/ニュー・リージェンシー・プロダクション ジョエル・シューマカーフィルム "タイガーランド" コリン・ファレル マシュー・ティビス
シア・ウイグハム クリフトン・コリンズ・ジュニア ラッセル・リチャードソン トーマス・グレイリー コール・ハウザー 音楽ネーサン・ラーソン 編集マーク・ステイブンス プロダクション・デザインアンドリュー・ロウズ
撮影マシュー・リパティック 製作総指揮アッド・カーダイラ 製作アーノン・ミルチャン スティーブン・ハフト ポー・フリン 脚本ロス・クラヴァン&マイケル・マクグラーサー

監督ジョエル・シューマカー



www.foxjapan.com



© 2007 TWENTIETH CENTURY FOX

タイガーランド

タイガーランド(アメリカのベトナム)
それは戦地に赴く最後の試練の地
ぼくたちは、まだ本当の戦争を知らなかった…

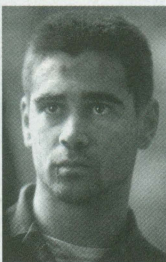
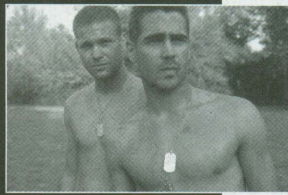
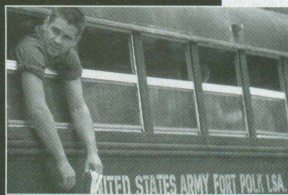
ボストン批評家協会賞
最優秀主演男優賞:コリン・ファレル

インディペンデント・スピリット賞
最優秀助演男優賞/ミネード・コール・ハウザー
最優秀デビュー脚本賞/ミネード・コール・ハウザー
ロス・クラヴァン/マイケル・マクグラーサー

第一級の脚本!
ベトナム戦争映画はもう観たくないという
批評家たちまでも、
まちがいに魅了するだろう
(ロサンゼルス・タイムズ)

コリン・ファレルの演技はオスカー級!
若き目のマロン・ブランドに匹敵
(ニューヨーク・ポスト)

観客が「いい映画だった」と
吹きながら出てくるタイプの映画。
あらゆる要素に掘り出し物の
ヒットになるという兆しがみえる
(ピープル)



これはベトナム戦争の映画ではない
戦争に旅立つ前の青年たちの心の中の物語

かつて、これほどの暴力と狂気に観客をさらしながら、かすかな光を感じさせ、
気づかぬうちに一筋の涙をあふれさせる力を持った映画があっただろうか。

「ディア・ハンター」「プラトーン」…ベトナム戦争を描いた傑作は数々ある。しかし、この映画はそのどれとも違う。戦場へ駆り出される若者たちの心の深奥に鋭い視線を向け、不安、恐怖、反抗心など嘘のない感情を鮮やかにえぐり出す。それは、まだ子供にしかすぎない若者たちの心の叫び。彼らは苛酷な軍隊で死と対峙しながらも、自分自身を見失うまいとする。ヒリヒリと胸を突き刺すようなリアリティが、観る者の心を揺さぶらずにはおかない。

「ここで死ななくても、ベトナムで死ぬんだよ」
～運命に逆らう男

1971年、激化するベトナム戦争のために次々と若者が戦地に送り込まれ命を散らしていた頃、ルイジアナ州ポーク基地に戦争に反抗する二等兵がいた。彼の名はボズ。常に人生の責任から逃げてきたボズは、軍隊からも逃げ出たてくてたまらない。彼のさまざまな抗議行動は戦争と軍隊の欺まんをさらけだしていくが、同時に隊の若者たちに動揺を与える。潰されかけていく者を、軍規の抜け道を使って次々と除隊させていくボズ。しかし、ボズの努力にもかかわらず、彼らは「タイガーランド」へ送られていく。そこは、ジャングルでの戦闘シミュレーションのために軍が作り上げたベトナム、最後の試練の場所だった。そこでボズは、自分でも予想も出来なかった行動に走るようになる。

これは、暴力と狂気の中でただひとり正気を失わなかった男と、彼によって生きる希望を与えられた青年たちの繊細な心を美しくリアルな映像で描いたドラマである。

スピルバーグに抜擢された期待の若手俳優
コリン・ファレル

心に矛盾を抱えた完璧でないヒーロー、ボズを演じるコリン・ファレルはこの作品をきっかけに、シューマカー監督の次回作「フォーン・ブース」では主演、スピルバーグ監督の最新作「マイノリティ・リポート」ではトム・クルーズの相手役、「Hart's War」ではブルース・ウィリスと共演と、話題作の出演が次々に決まっている注目の若手俳優である。また、語り部でもある友人バクストンに抜擢されたマシュー・デイスは「パール・ハーバー」に、小隊長マイターを演じるクリフトン・コリンズ・ジュニアは「トラフィック」にと、この映画を経てフレッシュなスターが誕生している。

ハリウッド有名監督に《ドグマ95》がもたらしたリアルで美しい映像

監督は「バットマン」シリーズや「評決のとき」など、ハリウッドのメジャー作品で成功しているジョエル・シューマカー。イベント的大作から離れたたいと考えていた彼が「ダンサー・イン・ザ・ダーク」のラース・フォン・トリアー監督らが主唱する《ドグマ95》に賛同。手持ちの16mmカメラで撮影し、照明、音楽は極力避け、特殊効果は一切取り払った。そこからは、ドキュメンタリーを思わせるような臨場感があって心に染みる美しい映像が紡ぎ出された。撮影は「π<パイ>」のマシュー・リパティック、音楽は「ボーイズ・ドント・クライ」のネーサン・ラーソンが担当している。



監督:ジョエル・シューマカー/脚本:ロス・クラヴァン&マイケル・マクグラーサー
製作:アーノ・ミルチッチ、スティーブン・ハフト、ボブ・フリン/撮影:マシュー・リパティック/音楽:ネーサン・ラーソン
キャスト:コリン・ファレル/マシュー・デイス/クリフトン・コリンズ・ジュニア
トーマス・ウイラー/シア・ウィグハム/ラッセル・リチャードソン/コール・ハウザー
2000年/アメリカ/ヒズサイズ/ドルビィSR・SRD/カラー/上映時間:1時間41分/字幕:ハー・監訳:戸田宗洋子

10月6日(土)〈都内〉感動のロードショー!
特別鑑賞券(一般券1500円)好評発売中!

日比谷・東宝映画街/入替制
シヤンテシネ 03 (3591) 1511

逃げた恋と
いつのまにか
始まっている恋。
アシュレー・ジャドのキュートな魅力が全開!
ニューヨークのTV局を舞台に
繰り広げられる
ロマンチックでせつなくて
心暖まるラブストーリー

アシュレー・ジャド グレグ・キニア ヒュー・ジャックマン
恋する遺伝子
フォックス2000ピクチャーズ 映ル リンダ・オスト元ガクソン マリサ・トメイ 40 エレン・パーキン
ランローラ・ジックマン 映ル ザバス・チャンドラー 映ル リンダ・オスト
原作: 菊川 隆史 監訳: 堀川 信子 www.foxjapan.com

10月中旬 日比谷スカラ座2 全国ロードショー